

16歳以上19歳未満の控除対象扶養親族に関する申立書

年 月 日

豊岡市福祉事務所長 様

住所 豊岡市 _____

氏名 _____

私の所得税法上の扶養親族のうち、前年（請求日が1月から6月までの間にある場合は、前々年）の12月31日において年齢が16歳以上19歳未満であった者について、以下のとおり申し立てます。

この申立書により申し出る16歳以上19歳未満の控除対象扶養親族の人数は、所得税及び住民税における内容と相違ありません。

●所得税法上の扶養親族のうち、16歳以上19歳未満の控除対象扶養親族の有無について

・ 有 （ 人）

・ 無

*いずれかに○をしてください。

●上記で有とした場合の16歳以上19歳未満の控除対象扶養親族

	ふりがな 氏名	個人番号	続柄	生年月日	別居の場合の住所
1					
2					
3					
4					

(注意事項)

- この申立書は、「障害児福祉手当認定請求書」、「特別障害者手当認定請求書」「障害児福祉手当(福祉手当)所得状況届」「特別障害者手当所得状況届」を提出する方が前年（請求日が1月から6月までの間にある場合は、前々年）の12月31日（年の途中で死亡した場合には、その死亡の日）において年齢が16歳以上19歳未満の所得税法上の扶養親族について、ご記入いただくものです。
- 所得税法上の扶養親族とは、前年（請求日が1月から6月までの間にある場合は、前々年）の12月31日（年の途中で死亡した場合には、その死亡の日）において、次のいずれにも該当する方をいいます。
 - ① 配偶者以外の親族(6親等内の血族及び3親等内の姻族)か、都道府県等から養育を委託された児童（いわゆる里子）である
 - ② あなたと生計を一にしている
 - ③ 前年(請求日が1月から6月までの間にある場合は、前々年)分の所得税法上の合計所得金額が38万円以下である
 - ④ 青色申告者の事業専従者として給与の支払を受けていない又は白色申告者の事業専従者でない
- 記入欄が足りない場合は、子の氏名等を複数枚の申立書に分けてご記入ください。